

- ◆ 近畿財務局では、地域の課題・ニーズ等に対し、当局が有するネットワークを活用した課題解決型のイベントを企画・実施しており、和歌山県中小企業家同友会(以下「同友会」)からの「地元企業経営者が、国の施策や金融機関の情報を知り、地域の現状等の情報を共有する機会、また、地域の声を汲み上げてもらえる機会を提供してほしい。」といった要望を受け、新宮市において「新宮・勝浦エリアの地域経済活性化のための意見交換会」を開催(平成28年11月17日)。
- ◆ また、上記の意見交換会において確認できた出席者からの意見・要望に対して、和歌山財務事務所が関係機関へ調査を行い、調査結果を還元する「フォローアップ会議」を開催(29年2月21日)。

1. 成果事例の概要等

【課題の把握】

- 地理的な要因(和歌山市から車で3時間)もあり、国の施策や金融機関の情報が乏しく、また地域の声が域外に届きにくい。
- 地域金融機関には、もっとリスクを取って融資・支援を行ってもらいつつ、一緒になって地域経済の活性化に取り組みたい。
- 国の施策や金融機関の情報を知る場・地域の声を汲み上げる場を提供してもらい、特に地元企業が、地域の現状を含め、情報を共有する機会を作っていただきたい。

＜地域経済活性化のための意見交換会＞

- RESAS情報を使った地域の現状の認識共有
- 地域の隅々まで届ける国の広報(金融行政や地方創生支援の取組)
⇒最近の金融行政や地域金融機関を取巻く現状の認識を共有
⇒財務局の知見・人脈の活用した企画(セミナー開催等)を周知
- 地域の声を汲み取る
⇒地元企業が抱える悩み・地域の課題等について意見交換



地域経済活性化のための意見交換会



フォローアップ会議

＜フォローアップ会議＞

- アフターフォローの適切な実施
⇒11月開催の意見交換会において出された地域の意見・要望について、和歌山財務事務所において事後調査を行い、地元企業経営者にとって有益と思われる情報を当会議で地域に還元

【ポイント】

RESASを活用した地域の分析資料を作成し、会議資料として活用したほか、出席企業の意見・要望について関係機関に調査を行い、その後、調査結果を独自資料にとりまとめ、「フォローアップ会議」で還元。

2. これまでの取組の成果等

【意見交換会における意見・要望およびフォローアップ会議における当局還元内容】

出席企業の意見・要望	当局還元内容
≪補助金の情報・申請について≫ ・地元金融機関から企業に対して補助金等の情報を提供してほしい ・補助金の情報や申請に係るノウハウを持たない企業が多いため、補助金を活用するための支援があれば活用企業が増える	・和歌山県よろず支援拠点が実施している、出張相談会、無料での申請書類作成支援等の取組を紹介 ・各産業支援機関と財務局が共催でシリーズ開催する、金融機関向けの「産業支援セミナー」を紹介
≪地方創生について≫ ・地域が一体となって取り組むべきはずの地方創生に係る情報が、地元企業や住民にまで届いてこない	・地方版総合戦略を確認し、各地方公共団体の具体的な取組を紹介
≪金融機関による情報発信や融資対応について≫ ・金融機関が行っている各種のセミナーについて、広く周知してもらうとともに、企業にとって有用な様々なテーマで開催してほしい ・融資の返済条件変更後の金融機関の対応等についての情報や事例を知りたい	・金融機関にヒアリングを行い、セミナー情報の取得方法等を紹介 ・返済条件変更先の融資事例など、金融機関の優良事例を紹介するとともに、金融当局の基本的な方針等について説明

事後アンケートの結果、「当局の地方創生や金融仲介機能の発揮の取組がよくわかった」、「金融機関のマッチングの取組を当社でも活用したい」といった意見が聞かれた。

3. 今後の課題と和歌山財務事務所の対応

- 企業から出された意見・要望について、当局の所掌事務以外の分野まで踏み込んで事後調査を行い、調査結果の還元を行う「フォローアップ会議」を開催した事例は希少であるため、当該取組について情報共有を行っていく。
- 同様の取組が和歌山県下の他の地域においても展開できないか検討を行っていく。